

<div><div>○ 校務分掌部の反省<ul style="list-style-type: none">・ 学期ごと・ 年度ごと</div><div>○ 児童生徒の実態<ul style="list-style-type: none">・ 各種検査の結果・ 日常の様子</div><div>○ 保護者・地域の意見</div><div>○ その他</div></div> <div>2019年度 日向市立東郷学園・坪谷小学校 小中一貫教育グランドデザイン</div> <div>学校評価<ul style="list-style-type: none">○ アンケートの結果<ul style="list-style-type: none">・ 児童生徒・ 保護者○ 学校の自己評価・改善策○ 学校運営協議会委員の意見</div>				
目 標	知（進路学習部）	徳（生徒指導部）	体（保体安全部）	地域（教務研究部）
	学力向上	基本的な生活習慣の確立	健康・安全・体力に対する意識の向上	主体性・社会性や豊かな心の育成
指導の重点	読書活動を通した豊かな心や読む力の育成	児童生徒の自己有用感のさらなる醸成	自他の命を大切にできる児童生徒の育成	家庭・地域と目標を共有した「郷育」の推進
具体的取組	① 朝読書の取組 ② 家庭での読書活動の推進 ③ 読書量を増やすための手立て	① 児童生徒会活動の充実 ② リーダー育成を踏まえた児童生徒の活躍の場の創出	① 学校保健委員会の充実 ② 学期1回の避難訓練の実施 ③ 交通安全教室の実施 ④ 月1回の登校班会の実施 ⑤ 体力向上	① 行事等の中での意図的な「郷育」の推進 <ul style="list-style-type: none">・ 自己有用感・社会性の育成・ 切磋琢磨し合う人間関係の育成
結 果	① 朝読書をすることで、読書意欲が高まってきた。また、児童生徒が落ち着いて生活をするようになり、集中して学習に取り組めるようになってきている。 読書をすることで、読書に対する興味関心が高まり、本を借りる児童生徒が増えた。	① 児童生徒会の役員は、これまでの担当教師の指示を聞いてから動く形から、指示を待つことなく、自分たちから進んで動くようになった。行事の企画等においても、役員相互で意見を出し合い、積極的に行事に関わる雰囲気が出てきた。	① 講師による講話によって、児童生徒が夢や目標に向けて積極的に行動する姿が多く見られるようになった。 ②【地震・津波想定】避難自体はうまくできたが、連絡網がうまく回らないクラスがあった。また、校長先生の話の時に連絡を回すと児童生徒が話を聞いていなかった。 【不審者想定】不審者のいる方向に避難している学級があったので、避難方法について改善が必要。 ③ 雨のために体育館での開催となったため、自転車乗用訓練が実施できなかった。 ④ 班長を中心に、きまりやルールを毎月繰り返し確認することで、集団の一員としての意識向上に繋がった。今後回数を減らすことを検討している。	①【1学期】行事としては児童生徒会を中心に、下級生を指導する場面が見られた。地域の協力を得ながら、有意義な体験活動を実施することができた。
	② 1日30分読書が十分できているとは言えないが、意識して読む児童生徒が増えた。保護者も30分読書を意識するようになった。	② 小学部では、登校班において、高学年が班長・副班長を担ったり、中学部では、修学旅行の事前指導に9年生が関わって8年生にアドバイスをしたり、また全学年では、清掃時に上の学年の児童生徒が下級生に指導するなど、それぞれの場で児童生徒同士の積極的な動きが見られた。 学校行事では、運動会において、団長・副団長・リーダーが団をまとめながら、応援やダンス、各競技に積極的に取り組む姿が見られた。	⑤【中学部】保健体育授業前のトレーニング、部活動での基礎体力トレーニングに取り組んだ。 【小学部】立腰指導に取り組んだ。業間や昼休み時間に外で元気よく遊んだり雨の日には体育館で体を動かしたりする姿が多く見られる。 【小・中共通】体力向上プランの見直しを基に指導を行うことができた。握力用ハンドグリップを購入し、握力を伸ばしていく。	①【2学期】運動会では中学部生を中心にダンスの練習に取り組む姿が見られた。また、地域の方を講師に招き、東郷音頭の練習に取り組むことで、地域理解を深めることができた。 地域の協力を得ながら、体験学習を実施することができた。事後指導においてお礼状作成や感想のまとめを通して、感謝の心を育てることができた。
改 善 策	評価	評価	評価	評価
	B ① 朝読書の時間を確保する。また、登校後、朝読書以外の日にも落ち着いて読書をするをを勧める。 2学期の取組を継続する。また、登校後の読書を勧める。	A ① 児童生徒集会や各委員会活動において、委員長・副委員長が自分たちで判断して動けるような雰囲気づくりに努める。	B ① 次年度も多くの児童生徒や保護者が参加できるように工夫する。また、日向市学校保健大会を学校保健委員会に位置づけ、家庭と学校で健康に対する意識の向上を目指す。	B ① 社会性アンケートの結果を分析し、本校校区の児童生徒の実態を明らかにし、今後の方策について検討する。
	B ② 見届けの手立てを講じ、1日30分の読書を継続する。また、進んで読書に取り組まない児童生徒の手立てを考える。 児童生徒・保護者への呼びかけをする。また、1日の読書時間を記録する。	A ② 日頃の学校生活や行事において、教師主導から生徒主導にできるものを厳選し、教師も関わりをもちながら、自分たちで学校を動かしているという自覚を持たせる手立てを講ずる必要がある。	B ② 1・7年の連絡網については入学式の時に携帯番号を聞いておく。 保護者への連絡は校長先生の話が終わってから学担が連絡を開始する。	
	B ③ 読書通帳・多読賞・シールなどの励ましの手立てを取り、読書量を増やす。 2学期の取組を継続する。		B ③ 雨天時は、自転車乗用訓練ができないので、県所有のシミュレーション可能な機械使用について交渉する。	
			B ④ 先月の反省を踏まえた月目標を立てさせるようにする。集合時の黙想を徹底させる。	
			B ⑤ 適宜、体力測定を実施し、成果を確認する。	
評価	B	A	B	B
学校運営協議会委員より	○ 現状のまま続けて欲しい。 ○ 家庭での取組をもう少し考えてみてはどうか。 ○ 読書通帳は、よいアイデアなので、全児童生徒に活用したらよい。 ○ 読書については、よく読書する子どもとしない子どもの差がありすぎるように思われる。 ○ 朝自習の時間に読書をする児童が増えた。 ○ 家庭での読み声は、保護者に読み声の確認をさせる。 ○ どのような場面においても国語力(読解力)は重要なことで、読書を通して、読み解く力を付けることはよいと思う。 さらに、その力が付いたかどうか判断できる材料があるともっとよいと思う。 ○ 読書は感性を豊かにし、大切なことだと感じる。これからも続けてほしい。	○ リーダーの育成については、確かに結果が出ていると思う。 ○ 今後は、挨拶に力を入れて取り組んでほしい。 ○ 学校愛が大切。その為、リーダー育成が必要だと思う。 ○ 小学部では、登校班において、大きな声で挨拶する班とあまりできない班がある。 ○ 運動会、文化祭等の行事について、児童生徒会が自分たちで企画・運営する姿が見られた。 ○ 運動会では、団長を中心に各団のリーダーが団をまとめて一体感が発揮されていた。 ○ 運動会等の行事を拝見する限り、中学生(8・9年生)を中心によくまとまっていると感じた。また、今年度当初に比べて、引き締まったように感じる。	○ 現状のまま続けて欲しい。 ○ 特に不審者については、最近多いので、意識をもたせて欲しい。 ○ 避難訓練については、反復訓練が必要。 ○ 交通安全・登下校指導については、定期的に実施すべきである。 ○ 朝の登校時には、班長を中心にきまりを守って登校しているが、下校時には、遊びながら帰っていることがあり、危ない時が多く見られる。 ○ 保護者の車での送迎が多い。 ○ 並進、薄暮時の無灯火等、自転車のマナーが悪い。 ○ 避難訓練は自分の生命に関わることであり、基本になることなので、情報を共有し、自ら判断し逃げ、避難する力を付ける指導をお願いする。 ○ 不審者情報がよく出る最近なので、地域も協力しなければと考える。	○ 体験活動等、地域とのふれあいは十分だと思う。 ○ 地域への活動参加があり、積極的に下級生への指導が印象にある(村祭り)。 ○ 一緒にできる行事などの計画をして、地域で子どもとのふれあいの場を作ってみてはどうだろうか。 ○ 地域の伝統行事等に積極的に取り組む姿勢が見受けられた。 ○ 東郷のまちを明るく住みやすいまちにするために、地域と協力して、何ができるかも検討してほしい。 ○ 東郷学園は、少人数で小さな社会である。また、地域人口も少なく、児童生徒の主体性、社会性を育成することは、難しい地域である。地域との連携を密にし、今後もし取り組んでいくべき重要事項である。 ○ 運動会の姿には感動した。